

国語プリント No. ()

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

国語表現 課題研究 2009

今後の国語表現は、以下の課題から一つを選んで作成・発表をおこなう。

課題 日本語に関するレポート

課題 音声言語表現作品

課題 総合表現作品

課題 日本語に関するレポート

内容

テーマ設定は日本語に関するものであれば、自由である。

〔例〕敬語について・故事成語について・言葉の乱れについて・気になる語について

テレビで使われている言葉の間違いについて

メールの文章の特徴について 芥川龍之介の文体について

歌の歌詞に使われている語の変遷について などなど

オリジナリティーのあるテーマオリジナリティーのある結論の出るテーマを選ぶこと。データは一次データのみを集めなければならない。すでにまとめられているデータを調べなおしたり、集計し直したりしてまとめるものは不可

分量

原稿用紙6枚以上（原稿用紙ノート12頁以上）

発表・提出

プレゼンテーションソフトを使い、発表の時間を取り、発表をする。

原稿用紙に書かれたものを提出する。

課題 音声言語表現作品

内容

朗読・群読・朗読劇・など、「声」を使った作品であること。

作品はひとまとまりである必要がある。（途中で終わらない。）

できれば著作権保護期間が切れているもの、またはオリジナルのものを選んでほしい。

分量

音声表現3分以上のもの。

発表・提出

録音・録画したものを再生する。

原稿として用意したもの（紙）・音声記録データ（磁気または光データ）を提出する。

課題 総合表現作品

内容

絵と言葉、音楽と言葉、動画と言葉などが合わさった総合表現作品を作る。

〔例〕小学校3年生で使う漢字をすべて覚えられる歌

重さ、長さ、量などの単位記号がすべて覚えられる歌

4歳の子供が拗音や濁音、半濁音をすべて正しく覚えられる図鑑ブックトーク。本の紹介を絵や朗読や写真などを使いおこなう。

発表・提出

録音・録画したものを再生する。絵であればプレゼンテーションをする。

品質

各作品とも、担当教師の示した基準（量・質）を上回るにより、課題完成と見なされる。

期限までに課題内容が決まらない場合は、担当教師の指示通りの課題をやってもらうことになる。

授業の流れと日程

テーマ設定	最終決定	11月30日
↓適宜進捗状況確認のため個人面談をする↓		
執筆	最終締め切り	1月22日
発表会		1月29日・2月1日（予定）

評価について

期限内に提出できない場合は、確実に赤点となる。

企画書について

執筆の前に企画書をノートに書いて提出する。OKが出たら執筆し始める。企画書は自分だけではなく、誰が見てもよくわかるように記してくること。

タイトル 概要 レイアウトや構想 計画 など、今後の時間をどのように使い、どのようなものを作ろうとしているのかが一目でわかるようにノートにまとめて提出する。
また、下書きはノートに書いてかまわない。